

【学校(園)・設置者向け】

令和7年度災害共済給付事業連絡協議会 説明資料

# 令和9年1月のシステム刷新を踏まえた 契約(名簿更新)及び請求事務の検討状況

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

災害共済給付金の支払請求等に当たっては、平成17年度から導入した災害共済給付オンライン請求システムをご利用いただいているところですが、令和9年1月にこのシステムを刷新すべく準備を進めております。

本資料は、令和7年9月から10月にかけて、各都道府県及び指定都市教育委員会を対象に行った協議会において、次期システムの概要や現時点で決定している内容をご説明させていただいたときのものです。

申請から給付通知までエンドツーエンドでのデジタル完結(完全ペーパーレス化)



ヒューマンエラーによる情報インシデントの根絶

自動入力・自動判定等の補助機能等の実装



教職員や審査担当職員の業務負担の軽減

令和9年1月からは

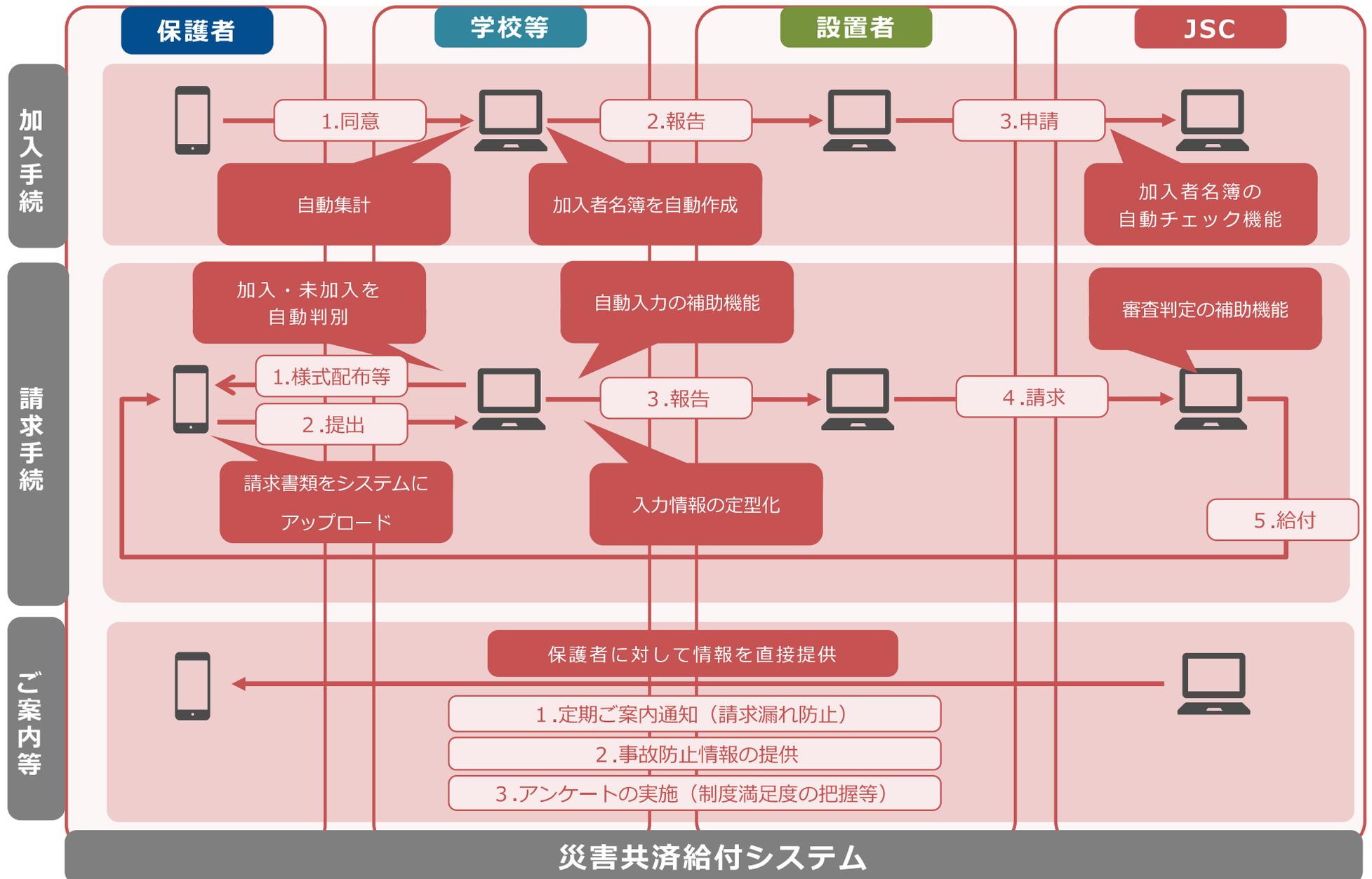
**システム申請のみ！！**



災害に遭われたこども・保護者への迅速かつ確実な給付

※学校等の設置者が契約当事者であり、JSCとの役割分担の下、本制度の運営(請求等事務)の一翼を担い、共済掛金を負担するという学校等及び学校設置者の役割・責務が変更されるものではありません。

【次期システムの全体イメージ】

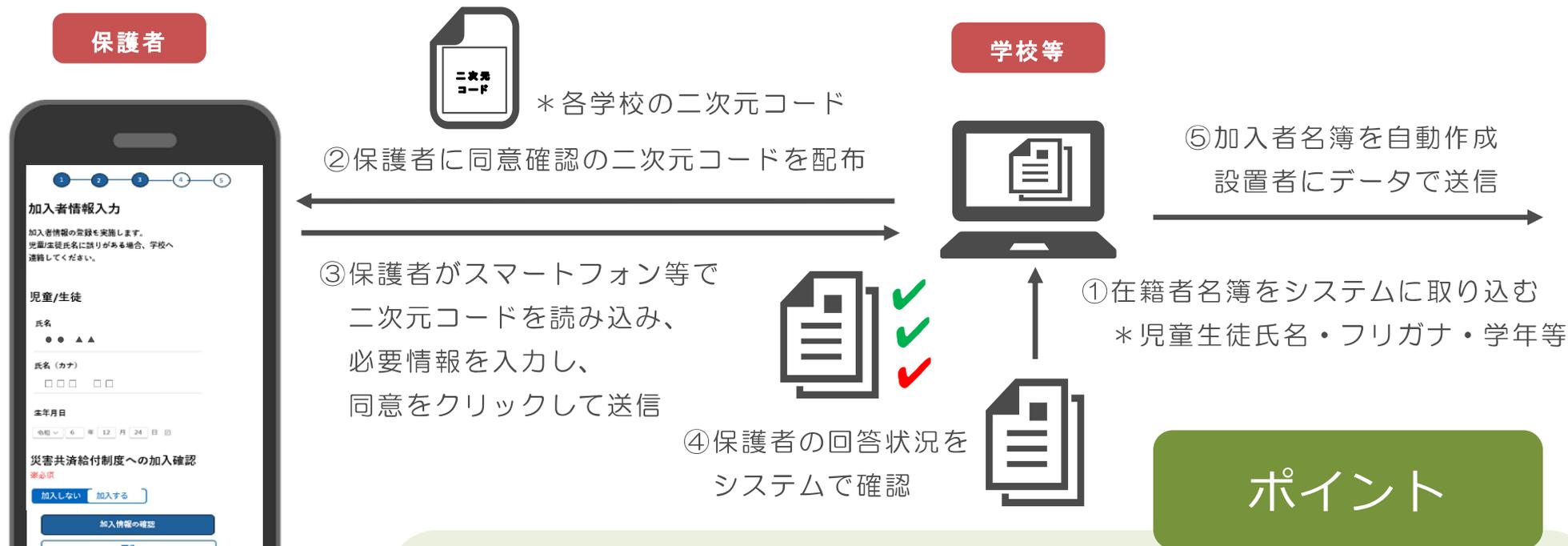


【現行システムと次期システムの主な機能等の比較】

		現行	次期	主な効果	利用者
契約手続	保護者の同意確認	教職員等が口頭又は紙で確認	システムで保護者に確認を求めることも可能	業務負担軽減	学校等、保護者
	加入者名簿の作成	学校等の教職員等が作成	既存のクラス名簿等のデータをシステムに取り込むことでシステムで自動作成	業務負担軽減	学校等
	加入者名簿の提出	紙の名簿を郵送 ※未加入者がいる場合	システムにて送信	業務負担軽減、情報インシデント防止	設置者
	加入者名簿の確認	JSC職員が確認	システムで自動作成のため不要	業務負担軽減	JSC
	契約書類の提出	紙書類を郵送	システムにて送信	業務負担軽減、情報インシデント防止	設置者
請求手続	請求関係書類（医療等の状況等）の提出	児童生徒が書類を学校等に持参	保護者がスマートフォン等にて撮影した書類の写真をシステムにアップロード（紙書類の提出が不要）	サービス向上、情報インシデント防止	保護者
	災害報告書の作成	記述式による入力を中心	選択肢による入力を中心。誤入力を防ぐ入力補助機能（デジタルガイド）を導入	サービス向上、業務負担軽減	学校等
	請求時加入者管理	学校等の教職員等が名簿に照らし確認	加入・未加入をシステムが自動判定	サービス向上、業務負担軽減	学校等
	審査	JSC職員が全て書類とデータを確認	職員の作業をサポートする補助機能を導入	サービス向上、業務負担軽減	JSC
	審査結果の通知	JSCが設置者に郵送 ※システム内で取得できない通知	設置者が希望した場合、保護者にもメールにて通知 ※	サービス向上、情報インシデント防止	JSC
	給付金の送金	JSCが設置者に送金し、設置者が保護者に送金	設置者と保護者が希望する等一定の条件を満たした場合、設置者が指定する保護者登録口座に送金	サービス向上、業務負担軽減	JSC
ご案内等	利用者アンケート	設置者・学校を通して保護者アンケートを実施	給付決定した保護者に対し、メールでのアンケートの協力依頼 ※	サービス向上	設置者・学校等
	請求忘れ防止	学校等の教職員等が任意で保護者等に確認	保護者に申請漏れに対する注意喚起をメールにて通知 ※	サービス向上	学校等

※）保護者への通知は、メールアドレスを登録した場合に限る。

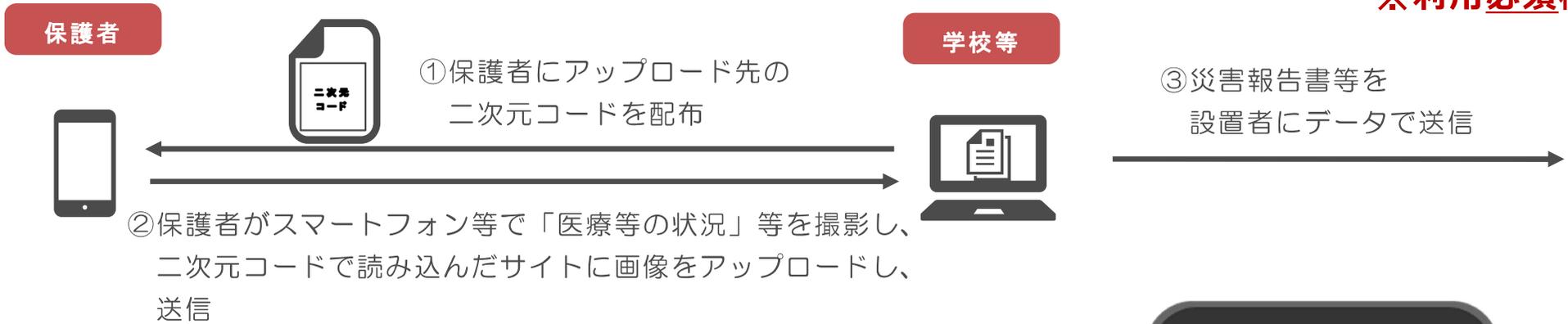
## ※利用可能機能



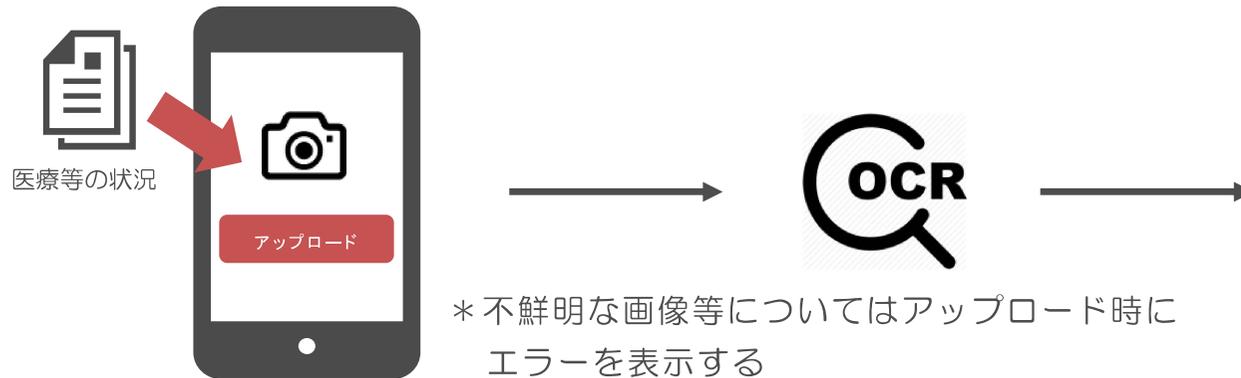
\* 保護者氏名とメールアドレスを入力し、生活保護の受給状況を選択するだけの簡易な操作

- 保護者の同意確認や加入者名簿作成がシステム上で(容易に)できるようにならないかとの要望を受けて、本機能を搭載
- 個人ごとではなく、各学校の二次元コードを振り出し、保護者に配布
- 在籍者名簿・加入者名簿には児童生徒等の氏名・フリガナ・学年データが必須
- ①～④を行わず、システム外で作成した加入者名簿を取り込むことも可能  
・これまでと同様、同意書等の紙により同意確認を行う場合にも対応可能
- 在籍者名簿とシステム外で作成した加入者名簿を共に取り込むことも可能  
・入学時に在籍期間中の同意を得ることで、新入学生等の一部のみスマートフォン等による同意取得機能を利用する場合にも対応可能
- 同意取得機能に対する保護者からのお問い合わせについては、学校又は設置者にて対応  
・制度や操作の説明動画等をJSCにて用意

※利用必須機能



<イメージ>



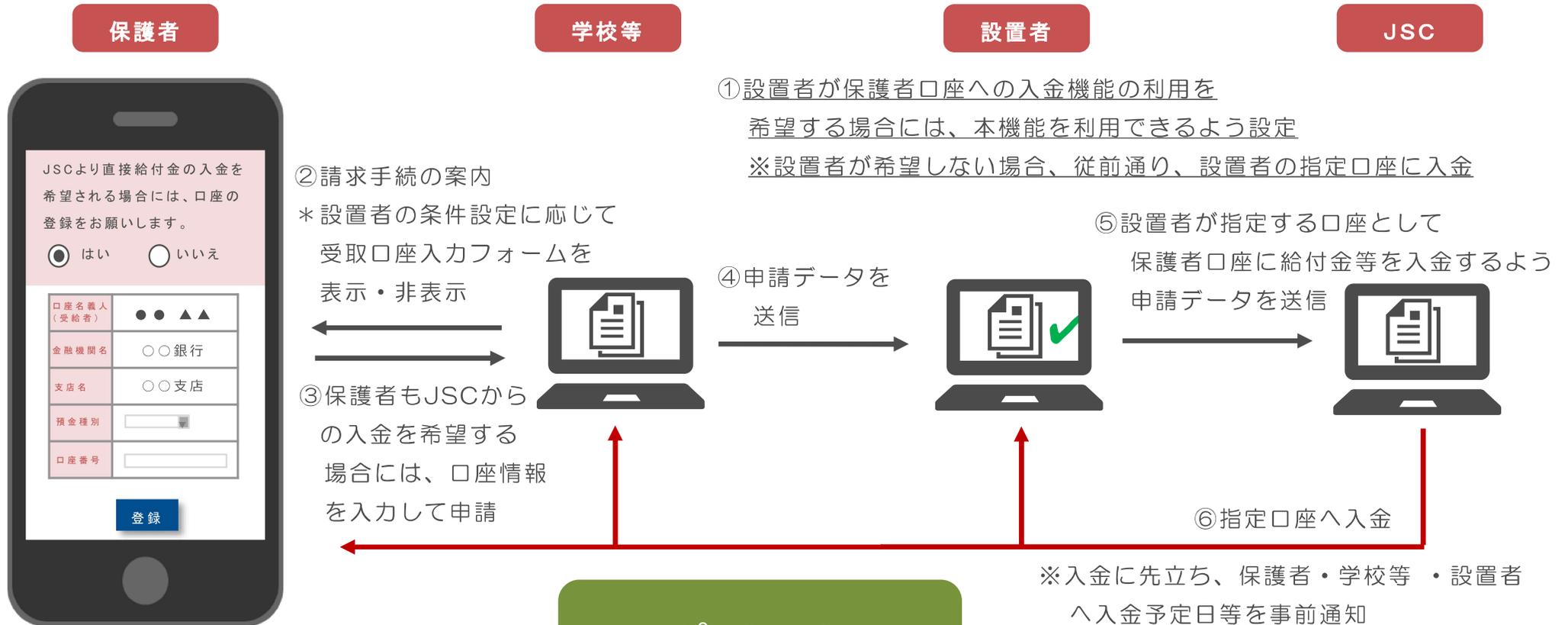
ポイント

- 請求事務上必須の手順のため、保護者にて撮影できない場合は、学校又は設置者にてアップロード
- 「医療等の状況」等の医療機関にて証明された書類については、保護者にて保管
- 医療費のみならず、死亡見舞金・障害見舞金もデータ申請(障害診断書等をアップロード)



※設計開発中のため画面はイメージです。

※利用可能機能



ポイント

- 迅速な入金を希望する保護者の声、保護者への振込の負担を軽減してほしいという設置者の要望を受けて本機能を搭載
- 設置者が保護者口座への入金機能の利用を希望する場合のみ利用可能
- その上で保護者が自身の口座への入金を希望する場合に、JSCから同口座に給付金を入金
- 口座情報相違等による振込エラー時や給付金額の誤りによる一部給付金返還が生じた場合は、これまでと同様、設置者にて対応が必要（振込エラーが生じた場合は、保護者口座への再振込は行わず、設置者口座への振込とします。給付金返還はこれまでと同様、設置者から返金していただきます。）

■ 申請時の入力は記述式ではなく選択肢を原則として、定型化と簡素化を企図

(12)災害発生の状況\*

- 具体的に入力してください
- 全角400文字以内で入力してください

例: (いつ)体育の授業中に、(どこで、何を)体育館で跳箱をしていたところ、(どのようにして)踏み切りに失敗し、跳箱にぶつかり転倒して、(どうなった)右足首をひねった。(53文字)

体育の授業中に、体育館で跳び箱をしていたところ、着地に失敗し、右足首をひねった。

どういった災害か？



ころぶ

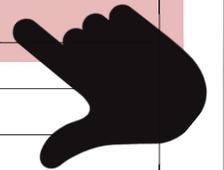
ころんだ要因は？

1 バランスをくずした

バランスをくずした要因は？

4 ジャンプした

1		落ちる
2		ころぶ
3		ぶつかる・接触する
4		はさまる・巻き込まれる
5		刺さる・切る
6		引っ掻かれる・噛まれる・刺される



■ 記述式のため欠損が生じていた事故防止情報も、定型化し、きめ細かに収集・分析

## 1. 説明会の開催

- 制度やシステムの操作等に関する説明会を支所ごと又は都道府県ごとに開催

## 2. 説明資料の強化

- システム切替前にデモ環境を用意し、操作体験ができる環境を準備
- 保護者等に対し動画等を周知するためのチラシを作成

## 3. デジタル・デバイスへの対応

- 利用者中心の原則に立って誰でも簡単に操作できるUI※1を構築し、UX※2の向上を図る
- 制度説明やシステム操作に関する動画を作成し、ウェブサイトに掲載

※1 UI：ユーザーがシステムと接する際の画面や操作方法

※2 UX：システムをユーザーが利用する際の体験全体

## 4. お問い合わせ窓口の強化

- サポートセンターを開設し、学校や設置者等からのお問い合わせにきめ細やかに対応
- サポートセンターのほか、チャットボット、説明動画やデジタルガイド等の入力補助機能によりサポート